

SURFNAVIの設置からお使いなれる状態にするまでの手順について説明します。また、SURFNAVIを再 セットアップする場合もここに記載している説明を参照してください。

設置と接続(→20ページ)	.SURFNAVIの設置にふさわしい場所や背面のコ ネクタへの接続について説明しています。
初めてのセットアップ(→24ページ)	.SURFNAVIをイントラネットサーバやインター ネットサーバとして使用できるまでのセットアッ プ手順について説明しています。ここでは必要最 低限のセットアップのみを説明しています。お客 様のお使いになる環境に合わせた詳細なセット アップについては第3章で説明してます。
管理コンピュータのセットアップ(→61ページ)	.ネットワーク上のコンピュータからSURFNAVI の管理・監視をするバンドルアプリケーションの インストール方法について説明しています。
再セットアップ(→62ページ)	.SURFNAVIを再セットアップする方法について 説明しています。



SURFNAVIの設置と接続について説明します。

設置



SURFNAVIの設置にふさわしい場所は次のとおりです。設置場所が決まったら、設置場所に ゆっくりと静かに置いてください。



次に示すような場所には設置しないでください。これらの場所にSURFNAVIを設置すると、 誤動作の原因となります。





SURFNAVIは縦置きでも横置きでも設置することができます。

縦置きにする場合は、図のようにSURFNAVIを立てて、添付のスタビライザで固定してくだ さい。





横置きにする場合は、添付のゴム足(4個)を底面に貼り付けてから置いてください。



SURFNAVIをネットワークに接続します。

ネットワークケーブルをSURFNAVIに接続してから添付の電源コードをSURFNAVIに接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。





■ SURFNAVIおよび接続する周辺機器の電源をOFFにしてから接続してください。ON の状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。

NEC以外(サードパーティ)の周辺機器およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置がSURFNAVIで使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの装置の中にはSURFNAVIで使用できないものがあります。



ネットワークに接続する前に次の点について確認してください。

インターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約情報

インターネットサービスプロバイダ(以下「ISP」と呼ぶ)と契約して インターネットモデルのための各種情報を確認してください。イントラネットで用いる場合は、LANのネットワーク設定を確認してください。

● ネットワーク機器

チェック

必要なルータ、ハブ、ケーブルが準備されていることを確認してください。また ISPとの接続に用いるルータもしくはダイヤルアップルータに、あらかじめインターネットモデルに必要な設定を行い設置しておいてください (イントラネットで用いる場合は必要ないこともあります)。

● クライアントPC

SURFNAVIとは別に、Windows 2000、Windows NT、Windows 98、または Windows 95のいずれかのWindows OSが利用可能なクライアントマシン(PC)を用意 してください。最低限の初期設定を行うための「初期導入設定ツール」の実行に利用しま す。

以上でSURFNAVIの電源をONにできる状態になりました。購入後、初めてSURFNAVIの電 源をONにする場合は、この後の「初めてのセットアップ」をご覧ください。再セットアップ の場合は、62ページの「再セットアップ」を参照してください。

初めてのセットアップ

購入後、初めてSURFNAVIをセットアップする時の手順について順を追って説明します。

接続方法の確認

SURFNAVIではネットワークの接続形態として次の4つの接続方法に対応しています。セットアップの前にお客様の接続環境を確認し、利用する接続形態を決定してください。以下に各接続形態の構成を説明します。

インターネットモデル

SURFNAVIにある2つのLANポートの一方 に、ISP接続ルータを接続して、ルータ経由で ISPに接続する構成です。ISPとインターネッ ト接続契約が必要です。

インターネット側からの接続(モバイル機器の 使用、インターネット向けのウェブサーバと しての利用)が可能です。インターネットに常 時接続しているので セキュリティに注意する 必要があります。



フレッツ・ISDNでグローバルIPアドレ スを8個取得できるプランは、このモデ ルを使用します。(2001年1月現在)

ダイナミックIPモデル

SURFNAVIにある2つのLANポートの一方に ISP接続ルータを接続して、ルータ経由でISP に接続する構成です。ISPとのダイヤルアップ の接続、またはアドレス動的割り当ての常時接 続(フレッツ・ISDNなど)の契約が必要です。 この形態ではインターネット側からの接続が できません。

イントラネットモデル

LAN内にSURFNAVIを配置して、社内LANサーバと して利用する構成です。



<インターネットモデル/ダイナミックIPモデル>



DMZネットモデル

ファイアウォールによってフィルタリングさ れたDMZ (De-Militarized Zone: 非武装地帯) ネットワーク内にSURFNAVIを設置する構成 です。ISPとのダイヤルアップの接続、または アドレス動的割り当ての常時接続(フレッツ・ ISDNなど)の契約が必要です。



初期導入設定用ディスクの作成

「初期導入設定用ディスク」はSURFNAVIをインターネットサーバとして導入するために最低 限必要となる設定情報が保存されたセットアップ用のフロッピーディスクです。

「初期導入設定用ディスク」は、添付の初期導入設定用ディスクにある「初期導入設定ツール」 を使って作成します。初期導入設定ツールは、Windows 2000、Windows NT、Windows 98、またはWindows 95で動作するコンピュータで動作します。

初期導入設定用ディスクに保存される設定項目は、SURFNAVIとネットワークとの接続形態 によって異なります。以降の説明では、それぞれの接続形態ごとに分けて説明をします。お 使いになるネットワーク構成に合わせて読み分けてください。

- インターネットモデルでのディスクの作成(この後の説明を参照)
- ダイナミックIPモデルでのディスクの作成(34ページを参照)
- イントラネットモデルでのディスクの作成(40ページを参照)
- DMZネットモデルでのディスクの作成(45ページを参照)



初期導入設定用ディスクを正しく作成できないときは、250ページを参照してください。

- パスワードは入力を間違えないよう注意してください。また、覚えやすくて第三者から
 推測されにくいものを用意してください。出荷時の初期パスワードは同梱の別紙「管理 者パスワード」に記載されています。万一、パスワードを忘れてしまった場合は添付の 「パスワードリセットディスク」を使って登録済みのパスワードを消去します。詳しくは 248ページをご覧ください。
 - 再セットアップの際に使用済みの初期導入設定用ディスクを使用することはできます が、セキュリティ保護のためパスワード情報が消去されています。初期導入設定ツール を使ってパスワードの設定やその他の設定が必要です。そのまま使用するとセットアッ プは正しく完了しません。

インターネットモデルでのディスクの作成

インターネットに接続している場合は、ここで説明する項目が必要です。

設定項目の確認

次に示すチェックリストの項目について確認してから設定ディスクの作成を始めます。確認 した項目についてチェックリストに記入しておくことをお勧めします。

初期パスワード

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パスワード」に記載してある値に設定されています。

● 管理者パスワード

SURFNAVIの管理を行うユーザー(admin)のパスワードです。管理者パスワードは推測 されにくく覚えやすいものを用意してください。

● プロバイダ(インターネット) 側ネットワークの基本設定

ISPとの契約内容を確認してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ー ネットマスク
- ー デフォルトゲートウェイ
- ネットワークの基本設定(ローカル側)

LAN側のネットワークの設定です。お客様の環境に合わせて指定してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ー ネットマスク
- ローカルのDNSの設定

マスタ/スレーブ/キャッシュ

- マスタ、スレーブ、キャッシュについては87ページを参照してください。
- マスタサーバの設定
 フォワード先の設定
 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意)
 セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- スレーブサーバの設定

マスタサーバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)

- キャッシュサーバの設定
 - フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) リゾルバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- DHCPサービスの設定

する / しない

- DHCPサーバを設定する場合

リリースするIPアドレス範囲

● リモート保守

<u>行う / 行わない</u>

リモート保守については販売店もしくは保守サービス会社にお問い合わせください。

ディスクの作成

Windowsマシンを起動して、初期導入設定用ディスクを作成します。 次の図のネットワーク構成を例として作成手順を説明します。



- 1. Windowsマシンのフロッピーディスクドライブに添付の初期導入設定用ディスクをセットする。
- 2. フロッピーディスクドライブ内の「初期導入設定ツール(SurfConf.exe)」をエクスプローラなどか ら実行する。
- 🚡 SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 3. 「次へ]をクリックする。 初期導入設定ツールでは、初期導入時に必要な情報の設定を行います。 各ページでは、必須項目を正く入力しないと、次のページに進めないなっています。 次のページに進めない薄点、必要項目が正く入力されているか確認してくたき、5 パスワードの設定画面が表示されます。 準備ができたり を押してください。 キャンセル 4. パスワードを設定し、「次へ]をクリック 🚡 SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール パスワードの設定 現在設定されている管理者のパスワードを入力してください。 パスワードを変更する場合は、「新しいパスワード」の欄に、新しいパスワードを入力してくださ い、確認のため、2度入力します。)

・管理者バスワード (初めて導入する) バスワード ****** 新しい管理者 ****** 新しいパス (確認再入 ****** 必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。 (戻る(日) 次へ()のう キャンセル

する。 管理者パスワードを変更することで

iManagement Consoleを使用できるよ うになります。管理者パスワードは必ず 変更してください。

- 出荷状態では、同梱の別紙「管理者パスワード」に記載してある値に設定されています。
- 新しい管理者パスワードに何も入力しない場合は、管理者パスワードは変更されません。

チェック

パスワードはそのままは表示されないため、タイプミスがないことを確認するために、もう一 度新しい管理者パスワードを入力してください。

×

X

5. 「基本設定」を選択し、[次へ]をクリック する。

■ SURFNAVI Lite 打規導入設定ツール設定開始
設定する項目を選択して下さい。 設定終了を選択してデス」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。
· 墨玉苔
C 設定終7
項目を選択したら、「次への)」を押してくたさい。 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. 「インターネットモデル」を選択し、 [次へ]をクリックする。

 インターネットモデル 	ださい
ダイアニッシルドモナル	
○ イントラネットモデル	
○ DMZネットモデル	
	項目を選択したら、「次へへい」を押してくだ

7. プロパイダ(インターネット)側のネット ワークの基本設定をして、[次へ]をク リックする。

プロバイダとの契約をご確認の上、正し く入力してください。 独自ドメインを取得している場合はそれ を使用してください。 デフォルトゲートウェイはルータを指定 してください。



チェック

- IPアドレスは各ボックスに0~255までの数値を入力してください。
- 数値や名前を正しく入力してください。



10. DHCPサーバを設定し、[次へ]をクリッ クする。

> DHCPサーバの設定をしない場合は 「DHCPサーバを設定しない」を選択しま す。

> DHCPサーバを設定する場合は、「DHCP サーバを設定する」を選択して、配布する IPアドレスの先頭アドレスと末尾アドレ スを入力してください。

すでに入力したIPアドレスおよびサブ ネットマスクより算出したアドレスが 入力されていますので、必要に応じて 変更を行ってください。

 セキュリティの設定を行う場合は、「詳細 設定」を選択し、[次へ]をクリックする。

C DUOD UNFERITE THE	
DHCP5 -バを設定しない	
- ス先頭アドレス	192 168 0 128
リース末尾アドレス	192 168 0 191
- ス先頭アドレス リース末尾アドレス	192 168 10 128 192 168 0 191

SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 設定開始
設定する項目を選択して下さい。 設定終了を選択して「充了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。
C BIANES
項目を選択したら、「次へいい」を押してください。
ax定於「をXadro いた」」を押すと、デイスクに情報を書き出して終了します。
< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル

リモート保守については「リモート保守」 (146ページ)を参照してください。

SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール		×
セキュリティの設定を行うことができま 設定を行う場合は、チェックボックスを	す。 チェックリア、設定ファイルを指定してください。	
SXECTION ETG. 9 2 9 2 1 9 7 7 7 7 7 7 2	11770 ((axe) / 1// 21a/20 ((2016	
リモート保守の設定 「リモート保守を行う」		
リモート保守の設定ファイル		
	必要事項を入力したら、「次へ〈N〉〉」を押してくだる	きし いっ
	_ 〈 戻る(旦) _ 次へ(型) 〉 _ ギャンセ	91

< 戻る(E

キャンセル

- [OK]をクリックする。
 初期導入設定ツールを終了します。
- **14.** 初期導入設定用ディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出す。

以上で完了です。続いて「SURFNAVIの セットアップ(50ページ)」へ進んでくだ さい。

作成した初期導入設定用ディスクは再 セットアップの際にも使用します。大切 に保管してください。



ダイナミックIPモデルでのディスクの作成

ダイヤルアップで接続している場合は、ここで説明する項目が必要です。

設定項目の確認

次に示すチェックリストの項目について確認してから設定ディスクの作成を始めます。確認 した項目についてチェックリストに記入しておくことをお勧めします。

● 初期パスワード _____

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パスワード」に記載してある値に設定されています。

● 管理者パスワード

SURFNAVIの管理を行うユーザー(admin)のパスワードです。管理者パスワードは推測 されにくく覚えやすいものを用意してください。

● プロバイダ(インターネット) 側ネットワークの基本設定

ISPとの契約内容を確認してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ー ネットマスク
- ー デフォルトゲートウェイ
- ネットワークの基本設定(ローカル側)

LAN側のネットワークの設定です。お客様の環境に合わせて指定してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ー ネットマスク
- マスタ/スレーブ/キャッシュ

マスタ、スレーブ、キャッシュについては87ページを参照してください。

- マスタサーバの設定
 - フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- スレーブサーバの設定
 - マスタサーバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)

- キャッシュサーバの設定
 - フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) リゾルバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- DHCPサービスの設定
 - DHCPサーバを設定する場合

□ リリースするIPアドレス範囲

リモート保守
 ガう / 行わない
 リモート保守については販売店、もしくは保守サービス会社にお問い合わせください。

ディスクの作成

Windowsマシンを起動して、初期導入設定用ディスクを作成します。 次の図のネットワーク構成を例として作成手順を説明します。



する / しない

35

- 1. Windowsマシンのフロッピーディスクドライブに添付の初期導入設定用ディスクをセットする。
- 2. フロッピーディスクドライブ内の「初期導入設定ツール(SurfConf.exe)」をエクスプローラなどか ら実行する。
- [次へ]をクリックする。
 パスワードの設定画面が表示されます。



現在設定されている管理者のパスワードを入力してください。 パスワードを変更する場合は、「新しいパスワード」の欄に、新しいパスワードを入力してくださ し、確認のため、2度入力します。)

必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。

< 戻る(日) 次へ(11) キャンセル

X

🚡 SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール パスワードの設定

シバスワード

ワード ^{*********}

管理者バスワード (初めて導入)

バスワ・

新しい管

新しい

(確認)

 パスワードを設定し、[次へ]をクリック する。

管理者パスワードを変更することで iManagement Consoleを使用できるよ うになります。管理者パスワードは必ず 変更してください。

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パス ワード」に記載してある値に設定されて います。

ノート」に記載してめる値に設かいます。 「チェック」

パスワードはそのままは表示されない ため、タイプミスがないことを確認す るために、もう一度新しい管理者パス ワードを入力してください。

5. 「基本設定」を選択し、[次へ]をクリック する。



6.	「ダイナミックIPモデル」を選択し、	■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール モデルの選択
	[次へ]をクリックする。	インターネットへの接続モデルを選択してください。 サーバの接続モデルを選択してください。 サーバの接続モデルを選択してください。 ・ グライシックPEモデル ・ タイナシックPEモデル ・ DMZネットモデル 項目を選択したら、「太へ(M)」を押してください。 (戻る(B) 次へ(M) キャンセル
7.	プロバイダ(インターネット)側のネット ワークの基本設定をして、[次へ]をク リックする。 プロバイダとの契約をご確認の上、正し く入力してください。 独自ドメインを取得している場合はそれ を使用してください。 デフォルトゲートウェイはルータを指定 してください。	SURFNAVI Lite 初期時入設定ツール ネットワークの基本設定(プロ)イイダ) オンターネットサービスプロ)イダ間のネットワークの設定を行います。 オスト名 ドメイン名 IPアドレス キットマスク デフォルトゲートウェ 「00、「00、「10、「10」、「20 255、「255」「00」 「00、「10」、「10」、「10」、「10」、「10」、「10」、「10」、「

チェック

- IPアドレスは各ボックスに0~255までの数値を入力してください。
- 数値や名前を正しく入力してください。
- 8. ローカル側のネットワークの基本設定を して、[次へ]をクリックする。

(L)N

独自ドメインを取得している場合はそ のドメイン名のサブドメインを使用で きます。

(例) inner.[独自ドメイン名]



< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

<u>チェック</u>

- IPアドレスは各ボックスに0~255までの数値を入力してください。
- 数値や名前を正しく入力してください。

9. DNSサーバの設定を選択し、[次へ]をク リックする。

> ~ Γス



DNSサードの経安 (7 マンジ インレージ イャッシュー マー・ノの設定
必要事項を入力したら、「次へ(40)」を押してください。
〈戻る(四) 沈へ(10) 〉 キャンセル

チェック	SURFNAVI
「スレーブ」を選択した場合はマスタ サーバの設定を行ってください。プラ イマリネームサーバは必ず指定してく ださい。	DNSサービ DNSサービ C マスタ © ズレー C キャ フライマ
	1271/2

■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール DNSサービスの設定
DNSサービスの設定を行います。
DNSサー、 設定 マスタサーバの設定 C マスタ ブライマリネームサーバ ・ C 以レー ・ ・ C キャ / ユ セカンダリネームサーバ ・
ード先の設定 フライマリネームサーバ
必要事項を入力したら、「次へ(N)」を押してください。
< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル

チェック 「キャッシュ」を選択した場合はリゾル バの設定を行ってください。プライマ リネームサーバは必ず指定してくださ い。

■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール DNSサービスの設定 × DNSサービスの設定を行います。 設定 先の設定 /マリネームサーバ セカンダリネームサーバ リゾルバの設定・ プライマリネームサーバ セカンダリネームサーバ 必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。 < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. DHCPサーバを設定して「次へ]をクリッ クする。

> DHCPサーバの設定をしない場合は 「DHCPサーバを設定しない」を選択しま す。

> DHCPサーバを設定する場合は、「DHCP サーバを設定する」を選択して、配布する IPアドレスの先頭アドレスと末尾アドレ スを入力してください。

すでに入力したIPアドレスおよびサブ ネットマスクより算出したアドレスが 入力されていますので、必要に応じて 変更を行ってください。



11.	セキュリティの設定を行う場合は、「詳細 設定」を選択し、[次へ]をクリックする。	▲ SURFNAVI the 初期導入設定ツール 設定開始 ぼきする項目 未選択して下き、 記定終了を選択して下き、 記定終了を選択してディンを指すと、ディスクに情報を書き出して終了します。 で 詳細認定 ・ ・
		〈 戻る(臣) 「 次へ(仏) 〉 「 ギャンセル
	リモート保守については「リモート保守」 (146ページ)を参照してください。	 SURFNAVL the 初期導入設定シール ビタキュリティの設定者行うことができます。 設定を行う場合は、チェックボックスをチェックして、設定ファイルを指定してください。 Uモート保守の設定 Uモート保守の設定 Uモート保守の設定ファイル
		必要事項を入力したら、「次へ(N>」を押してください。

12. [完了]をクリックする。 初期導入設定用ディスクに設定した内容 が書き出されます。

しばらくすると、ポップアップメッセー ジが表示されます。

SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 設定開始
設定する項目を選択して下さい。 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。
○ 基本設定
○ 副羊和副致定
○ 設定終了
項目を選択したら、「ケヘ(N)」を押してください。 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスケーレーで終了します。
〈 算る(8) (売了) キャンセル
\succ

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

- **13.** [OK]をクリックする。 初期導入設定ツールを終了します。
- 14. 初期導入設定用ディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出す。

以上で完了です。続いて「SURFNAVIの セットアップ(50ページ)」へ進んでくだ さい。

作成した初期導入設定用ディスクは再 セットアップの際にも使用します。大切 に保管してください。



イントラネットモデルでのディスクの作成

イントラネット用として接続している場合は、ここで説明する項目が必要です。

設定項目の確認

次に示すチェックリストの項目について確認してから設定ディスクの作成を始めます。確認 した項目についてチェックリストに記入しておくことをお勧めします。

初期パスワード

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パスワード」に記載してある値に設定されています。

● 管理者パスワード

SURFNAVIの管理を行うユーザー(admin)のパスワードです。管理者パスワードは推測 されにくく覚えやすいものを用意してください。

- ネットワークの基本設定(ローカル側)
 - ホスト名
 - ドメイン名
 - ー IPアドレス
 - ー ネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ(任意)
- マスタ/スレーブ/キャッシュ

マスタ、スレーブ、キャッシュについては87ページを参照してください。

- マスタサーバの設定
 - フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- スレーブサーバの設定
 - マスタサーバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)
- キャッシュサーバの設定
 - フォワード先の設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意) リゾルバの設定 プライマリネームサーバのIPアドレス(必須) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)

● DHCPサービスの設定

- DHCPサーバを設定する場合

□ リリースするIPアドレス範囲

● リモート保守

<u>行う / 行わない</u>

リモート保守については販売店、もしくは保守サービス会社にお問い合わせください。

ディスクの作成

3. [次へ]をクリックする。

パスワードの設定画面が表示されます。

Windowsマシンを起動して、初期導入設定用ディスクを作成します。 次の図のネットワーク構成を例として作成手順を説明します。



- 1. Windowsマシンのフロッピーディスクドライブに添付の初期導入設定用ディスクをセットする。
- 2. フロッピーディスクドライブ内の「初期導入設定ツール(SurfConf.exe)」をエクスプローラなどか ら実行する。



4. パスワードを設定し、[次へ]をクリック する。

管理者パスワードを変更することで iManagement Consoleを使用できるよ うになります。管理者パスワードは必ず 変更してください。

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パス ワード」に記載してある値に設定されて います。

豪 SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール パスワードの設定	×
現在設定されている管理者のパスワードを入力してください。 パスワード変変更する場合は、「新しいパスワード」の欄に、新しいパスワードを入力してくださ し、確認のため、2度入力します。)	
管理者/12ワード (7)か7(導入するが パスワード 新しい管理者) アード デー・ 新しい12ワ ・ ******* (確認満入す *******	
必要事項を入力したら、「次へ(い)」を押してください。	
< 尻砂(日) (尻砂(日) キャンセル	

チェック

パスワードはそのままは表示されないため、タイプミスがないことを確認するために、もう一 度新しい管理者パスワードを入力してください。

5.	「基本設定」を選択し、[次へ]をクリック する。	 SURFNAVLLie が期時入設定ツール設定開始 設定する項目を選択して下さい。 設定於了を選択して元了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。 医本該 の 医本該 の 設定終了 設定終了 現目を選択したら、「かへのの」を押してたさい。 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。 (戻る(空) 次への) キャンセル
6.	「イントラネットモデル」を選択し、 [次へ]をクリックする。	SURFNAVI Line 120時時入設定ツールモデルの液沢 アンターネットへの接続こついて確認します。 サーバの接続モデルを選択してださい。 サーバの接続モデルを選択してださい。 ・ (「フターネットモデル ・ メイエニットパロエニュー 項目を選択したら、「次へ(M>)を押してください。 〈 戻る(D) 、 ズへ(D) > キャンセル
7.	ネットワークの設定をし、[次へ]をク リックする。	 SURFNAVI Lite 初期は入設定ツールネットワークの基本設定(ローカル) ローカル(物の設定を行います。 ホスト名 ドメイン名 IPアドレス キットマスク デフォルトゲートウェ

必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。 〈戻る(B) 次へ(N) キャンセル



9. DHCPサーバを設定して「次へ]をクリッ クする。

DHCPサーバの設定をしない場合は 「DHCPサーバを設定しない」を選択しま す。

DHCPサーバを設定する場合は、「DHCP サーバを設定する を選択して、配布する IPアドレスの先頭アドレスと末尾アドレ スを入力してください。



すでに入力したIPアドレスおよびサブ ネットマスクより算出したアドレスが 入力されていますので、必要に応じて 変更を行ってください。



 セキュリティの設定を行う場合は、「詳細 設定」を選択し、「次へ」をクリックする。



リモート保守については「リモート保守」 (146ページ)を参照してください。

■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール セキュリティの設定を行うことができます。 設定を行う場合は、チェックボックスをチョ	マクして、設定ファイルを指定してください。
Uモート保守の設定 Uモート保守の設定 Uモート保守の設定 Uモート保守の設定ファイル	
	<u>参照</u>
	必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。 (戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

11. [完了]をクリックする。

初期導入設定用ディスクに設定した内容 が書き出されます。

しばらくすると、ポップアップメッセー ジが表示されます。

SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 設定開始	×
設定する項目を選択して下さい。 設定線了を選択して「充了」を押すと、ディスクに情報を書き出して終了します。	
○ 基本說定	
C 詳細設定	
€ <u>設定終了</u>]	
項目を選択したら「^、90>」を押してください 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスン・「+mこ」、「して終了します。	5
< 戻る(B) 完了 キャンセル	
¥	

- [OK]をクリックする。
 初期導入設定ツールを終了します。
- **13.** 初期導入設定用ディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出す。

以上で完了です。続いて「SURFNAVIの セットアップ(50ページ)」へ進んでくだ さい。

作成した初期導入設定用ディスクは再 セットアップの際にも使用します。大切 に保管してください。



DMZネットモデルでのディスクの作成

DMZネットワーク内で接続する場合は、ここで説明する項目が必要です。

設定項目の確認

次に示すチェックリストの項目について確認してから設定ディスクの作成を始めます。確認 した項目についてチェックリストに記入しておくことをお勧めします。

初期パスワード

出荷状態では、同梱の別紙「管理者パスワード」に記載してある値に設定されています。

● 管理者パスワード

SURFNAVIの管理を行うユーザー(admin)のパスワードです。管理者パスワードは推測 されにくく覚えやすいものを用意してください。

● プロバイダ(インターネット)側ネットワークの基本設定

ISPとの契約内容を確認してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ネットマスク
- ー デフォルトゲートウェイ
- ネットワークの基本設定(ローカル側)

LAN側のネットワークの設定です。お客様の環境に合わせて指定してください。

- ホスト名
- ドメイン名
- IPアドレス
- ー ネットマスク
- ー デフォルトゲートウェイ
- キャッシュ

キャッシュについては87ページを参照してください。

- フォワード先の設定

プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)

ー リゾルバの設定

プライマリネームサーバのIPアドレス(任意) セカンダリネームサーバのIPアドレス(任意)

● リモート保守

<u>行う / 行わない</u>

リモート保守については販売店もしくは保守サービス会社にお問い合わせください。

ディスクの作成

Windowsマシンを起動して、初期導入設定用ディスクを作成します。 次の図のネットワーク構成を例として作成手順を説明します。



- 1. Windowsマシンのフロッピーディスクドライブに添付の初期導入設定用ディスクをセットする。
- 2. フロッピーディスクドライブ内の「初期導入設定ツール(SurfConf.exe)」をエクスプローラなどか ら実行する。
- 3. [次へ]をクリックする。 パスワードの設定画面が表示されます。 「SURFNAVI Lite 初期時入時定シールでは、初期時入時定を要な情報の時定を行います。 なっています。 次のページに進めないます。 次のページに進めない場合、必要項目が正く入力されているか確認して休まい。

準備ができた

を押してください。 キャンセル **4.** パスワードを設定し、[次へ]をクリック する。

管理者パスワードを変更することで iManagement Consoleを使用できるようになります。管理者パスワードは必ず 変更してください。



出荷状態では、同梱の別紙「管理者パス ワード」に記載してある値に設定されて います。

チェック

パスワードはそのままは表示されない ため、タイプミスがないことを確認す るために、もう一度新しい管理者パス ワードを入力してください。

5. 「基本設定」を選択し、[次へ]をクリック する。



■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール パスワードの設定

・管理者バスワード (初めて導入する)

パスワード

新しい管理者)

新しいスワ

(確認再入)

現在設定されている管理者のパスワードを入力してください。 パスワード変更する場合は、「新しいパスワード」の欄に、新しいパスワードを入力してくださ い、確認のため、2度入力します。)

必要事項を入力したら、「次へ(N)>」を押してください。

< 戻る(8) 次へ(2)> キャンセル

 「DMZネットモデル」を選択し、 [次へ]をクリックする。



×

7. プロバイダ(インターネット)側のネット ワークの基本設定をして、[次へ]をク リックする。

プロバイダとの契約をご確認の上、正し く入力してください。 独自ドメインを取得している場合はそれ を使用してください。



チェック

- IPアドレスは各ボックスに0~255までの数値を入力してください。
- 数値や名前を正しく入力してください。
- 8. ローカル側のネットワークの基本設定を して、[次へ]をクリックする。

独自ドメインを取得している場合はそ のドメイン名のサブドメインを使用で きます。

(例) inner.[独自ドメイン名]

ホスト名	surf1
『メイン名	dmznet
Pアドレス	10 10 11
ネットマスク	255 255 255 0
,	J

チェック

- IPアドレスは各ボックスに0~255までの数値を入力してください。
- 数値や名前を正しく入力してください。
- 9. DNSサーバのリゾルバとフォワード先を 設定し、[次へ]をクリックする。

- フォワード先については必要に応じて設定してください。
- リゾルバの設定を行ってください。プライマリネームサーバは必ず指定してください。

■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール DNSサービスの設定 🛛
DNSサービスの設定を行います。
DN6サールの設定 C マスタ C スレージ C スレージ C スレージ
フォワード先の設定 プライマリネームサーバ セカンダリネームサーバ
リゾルバの設定 ブライマリネームサーバ セカンダリネームサーバ
必要事項を入力したら、「次へ(い)」を押してください。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10.	セキュリティの設定を行う場合は、「詳細	■ SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 設定開始
	設定」を選択し、[次へ]をクリックする。	設定する項目を選択して下さい。 設定終了を選択して「完了」を持すと、ディスクに情報を書き出して終了します。
		項目を選択したら、「次へいい」を押してください。 設定終了を選択して「完了」を押すと、ディスグに情報を書き出して終了します。
		ישראר שאאר איז
	リモート保守については「リモート保守」 (146ページ)を参照してください。	SURFNAVILite 加明時入設定シール セキュリティの預定を行うことができます。 設定を行う場合は、チェックホックスをチェックして、設定ファイルを指定してください。 ・リモート保守の設定 「リモート保守の設定 」 「リモート保守を行う」
		リモードは50018年37/410
		必要事項を入力したら、「次へ(ND)」を押してください。
		< 戻る(B) 次へ(W) キャンセル
11.	[完了]をクリックする。	🐻 SURFNAVI Lite 初期導入設定ツール 設定開始

11. [完了]をクリ 初期導入設定用ディスクに設定した内容

が書き出されます。

しばらくすると、ポップアップメッセー ジが表示されます。

SURFNAVI Lite	加期導入設定ツール 設定的	罰始			x
設定する項目 設定終了を選	を選択して下さい。 沢して「完了」を押すと、デ	イスクロに情報を書	き出して終了しま	ŧţ.	
○ 基本設定					
○ 詳細設定					
 · · · ·					
		- T (1 - 1 - 13) (- 14)	+ 2 57 - 60		
I	没定終了を選択して「完了	項目を選択し 」を押すと、ディス	,7-5, 1:4-4 (ND)	りを押してくたさい 出して終了します	0
		< 戻る(<u>B</u>)	完了	キャンセル	
			\checkmark		
		-			
定完了		×			

- 12. [OK]をクリックする。 初期導入設定ツールを終了します。
- 13. 初期導入設定用ディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出す。

以上で完了です。続いて「SURFNAVIの セットアップ(50ページ)」へ進んでくだ さい。

作成した初期導入設定用ディスクは再 セットアップの際にも使用します。大切 に保管してください。



SURFNAVIのセットアップ

SURFNAVIは、初期導入設定ツールで作成した「初期導入設定用ディスク」を使用して、短時間でセットアップできます。

セットアップの手順

以下手順でセットアップをします。



正しくセットアップできないときは、次ページ、および250ページを参照してください。

 SURFNAVIの「100BASE-TX/10BASE-Tコネクタ」とローカル側ネットワークが ツイストペアイーサネットケーブルで接 続されていることを確認する。

SURFNAVIをインターネットに接続する 場合は、PCIボード増設用スロットに装 着された「100BASE-TX/10BASE-Tコ ネクタ」とインターネット側(ルータ(常時 接続の場合)、またはダイヤルアップルー タ(ダイナミックIPモデルの場合))がツイ ストペアイーサネットケーブルで接続さ れていることを確認する。

 前述の「初期導入設定用ディスクの作成」 で作成した初期導入設定用ディスクを3.5 インチフロッピーディスクドライブに セットする。





3. POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

SURFNAVIは、初期導入設定用ディスク から設定情報を読み取り、自動的にセッ トアップを進めます。2~3分ほどでセッ トアップが完了します。

3章の「iManagement Consoleへのアク セス方法 |を参考にSURFNAVIにアクセ スしてください。



POWERランプ

₩O EE

セットアップの完了が確認できたらセットした初期導入設定用ディスクをフロッピーディスク ドライブから取り出して大切に保管してください。再セットアップの時に再利用することがで きます。

セットアップに失敗した場合

SURENAVIのセットアップが失敗した場合は、ビープ音を一秒おきに10回鳴らすことで ユーザーに異常を知らせます(自動的に電源がOFF(POWERランプ消灯)になります)。正常 にセットアップが完了しなかった場合は、初期導入設定用ディスクに書き出されるログファ イル「logging.txt」の内容をコンピュータの「メモ帳」などのツールを使って確認し、再度初期 導入設定ツールを使用して初期導入設定用ディスクを作成し直してください。

<主なログの出力例>

- [Info] complete.]
 - → 正常にセットアップが完了した場合に表示されます。
- [Info] Initializing the environment.]
 - → 実際にセットアップを行った場合に表示されます。この表示が無い場合は、初期導 入設定用ディスクを使用したセットアップは行われていません。
- Cannot get authentication: root
 - → 初期導入設定用ディスク中のパスワードの指定に誤りがある場合に表示されます。
- [[Error] invalid file: /mnt/floppy/linux.aut]
 - → 初期導入設定用ディスク中のパスワード情報を格納したファイル(linux.aut)が正し く作成されなかった場合に表示されます。
- [[Error] cannot open file: /mnt/floppy/linux.aut]
 - → 初期導入設定用ディスク中のパスワード情報を格納したファイル(linux.aut)が正し く作成されなかった場合に表示されます。

セットアップや運用時のトラブルについての対処を246ページで詳しく説明しています。

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

ESMPRO/ServerAgentは出荷時にインストール済みですが、固有の設定がされていません。5章の「ESMPRO/ServerAgent」を参照してセットアップしてください。

システム情報のバックアップ

システムのセットアップが終了した後、添付の「保守・管理ツールCD-ROM」にあるオフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をパックアップすることをお勧めします。 システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リ ストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをしてください。



保守・管理ツールCD-ROMでSURFNAVIを起動して操作します。保守・管理ツールCD ROMから起動させるためには、事前にセットアップが必要です。4章を参照して準備してください。

- 1. 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
- 2. 装置に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」から「オフライン保守ユーティリティ」を起動する。 「保守・管理ツールCD-ROM」の使い方については4章を参照してください。
- 「システム情報の管理」から「退避」を選択する。
 以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

UPS(無停電電源装置)のセットアップ

オプション無停電電源装置(UPS)をSURFNAVIに取り付けることにより、停電や瞬断、電圧 低下や過負荷配電などの電源に関わるトラブルからシステムダウンを防ぐことができます。 SURFNAVIにUPSを取り付けた場合は、電源の状態に合わせて自動的にSURFNAVIのシス テムの動作/停止を行うことができます。

ここでは、SURFNAVIでUPSを使用するための手順を説明します。

UPSの 設定

以下のUPSを接続する場合、UPSの背面にあるDIPスイッチの設定を変更する必要があります。

ここに挙げられていないUPSを接続する場合は設定を変更する必要はありません。

<設定変更が必要なUPS>

- 無停電電源装置(1000VA) N8580-28AC
- 無停電電源装置(1250VA) N8580-29AC
- 無停電電源装置(1250VA) N8580-27A

<設定変更値>

スイッチ	設定値
DIP-SW1	OFF
DIP-SW2	OFF
DIP-SW3	ON

SURFNAVI/UPSの接続

SURFNAVIの電源コードを、UPSの背面にあるサービスコンセントに接続します。 UPSのサービスコンセントには、「SWITCH OUT」と「UN-SWITCH OUT」という2種類のコ ンセントがあります(「OUTPUT1」、「OUTPUT2」と呼ぶ場合もあります)。

SURFNAVIの電源コードはUPSの「SWITCH OUT(OUTPUT 1)」に接続します。





SURFNAVIの電源コードをUPSの「UN-SWITCH OUT」に接続しないでください。UPS との電源連動ができなくなります。

電源コードをUPSに接続した後、UPSに添付されている接続ケーブルまたは別売の接続ケー ブルをSURFNAVIとUPSのシリアルポートに接続します。

UPS制御ソフトウェアの起動と確認

UPS制御ソフトウェアの起動と確認の方法について以下に説明します。

起 動

以下の手順に従って制御ソフトウェアを起動してください。

- クライアントマシンからiManagement Consoleを起動する。
- [システム]アイコンをクリックし、「サービス選択」をクリックする。



3.「UPS」欄のリストの中から、下表の通 り、接続されているUPSに合ったタイプ を選択する。

型名	選択するUPSタイプ
N8580-11 N8580-12 N8580-13 N8580-33 NP8500-645P1CP 付属のUPS	Smart-UPS
N8580-28AC N8580-29AC N8580-27A	I-UPS

 [スタート]アイコンをクリックし、「終 了」をクリックする。



5. 「終了方法:」から「サーバシステムを再起 動する」を選択し、[OK]をクリックす る。

システムが再起動します。

■ 終了 終了方法を選	祝して、OKボタンを押して下さい。
終了方法:	
	- バシステムの電源を切る
	◎ サーバシステムを再起動する
	СК

確認

以下の手順に従って制御ソフトウェアが正しく動作していることを確認してください。

 クライアントマシンからiManagement Consoleを起動し、「システム」アイコン をクリックして「UPS」をクリックする。



2. 表示されたUPSの状態画面の状態が「オンライン」になっていることを確認する。

■ Smart-UPS 状態オンライン □ UPS動作テスト 設定	■ I-UPS 状態 オンライン

正しく動作しないときは

以下のような状態となるときは、正しく制御ソフトウェアが動作していません。 「システム」→「サービス選択」で、正しいUPSタイプが選択されていることを確認し、UPSイ ンターフェースケーブルが正しく取り付けられていることを確認して、もう一度システムを 再起動して確認ください。

それでも正しく動作しない場合は、お買いあげの販売店または保守サービス会社へご連絡く ださい。

- システムの起動が異常に遅い。
- システムが起動後、すぐにシャットダウンした。
- ●「システム」→「UPS」をクリックするとUPSの状態が「不明」と表示される。
- 「システム」→「UPS」をクリックすると「エラー通知: UPS制御ソフトウェアが起動してい ません。」と表示される。
- ●「システム」→「UPS」をクリックすると「エラー通知:UPSの状態の読み込みに失敗しました。」と表示される。

電源連動の確認

以下の手順に従って電源連動機能が正しく動作するかどうかを確認することができます。



正しく設定されていないとSURFNAVIがシステムダウンするおそれがあります。確認を行う前に、あらかじめ、お客様固有の情報(システム設定ファイル)をバックアップしてください。バックアップの方法は「バックアップ」(132ページ)の説明を参照してください。

- SURFNAVIの電源をONにしてシステム を起動する。
- クライアントマシン上でiManagement Consoleを起動し、「システム」アイコン をクリックして「UPS」をクリックする。



3. UPSの状態が「オンライン」と表示されて いることを確認する。 <状態表示画面例>





UPSタイプで「Smart-UPS」を選択して いる場合は、「UPS動作テストモード」 をチェックした後、[設定]をクリック してください。

[設定]をクリックすると、システムの 再起動を促すメッセージが表示されま すので、[はい]をクリックしてシステ ムを再起動します。

システムの再起動の後は、手順2に戻り 確認を行ってください。





4. UPSの電源コードをコンセントから抜 き、バッテリ運用モードに切り替える。

バッテリ運用モードに切り替わるとUPS から警告音が鳴ります。

5. 手順2および手順3を参照してUPS状態画 <状態表示画面例> 面を表示する。 UPSの状態画面が、「バッテリー」と表示

されていることを確認します。

Smart-UPS	
状態 バッテリー	
✓ UPS動作テスト	
設定	

6. UPSの電源コードをコンセントに差し込 み、手順2および手順3を参照してUPS状 態画面を表示する。

UPSの状態画面が、「オンライン」と表示 されていることを確認します。

7. UPSの電源コードを再びコンセントから 抜く。

この状態で約3分待ち、自動的に SURFNAVIのシステムが停止して SURFNAVIの電源がOFF(POWERランプ が消灯)することを確認します。

8. UPSの電源コードを再びコンセントへ差 し込む。

自動的にSURFNAVIの電源がONとなり システムが正しく起動されることを確認 してください。

以上で連携確認は完了です。

UPS動作テストモードに設定変更した場合は、手順2および手順3を参照して「UPS動作テス トモードを解除してください。

<状態表示画面例>
■ Smart-UPS
状態 オンライン
🗌 UPS動作テスト
設定

電源連動設定の解除

以下の手順に従ってSURFNAVIとUPSとの電源連動設定を解除することができます。

 クライアントマシン上でiManagement Consoleを起動し、「システム」アイコン をクリックして「サービス選択」をクリッ クする。



2. 「UPS」欄のリストの中から「UPSを接続 しない」を選択する。

■ サービスの選択				
Mailサービス	Mailサービス停止 💌	設定	状態	
Webサービス	Webサービスなし 💌	設定	状態	
プロキシ	使用する 💌	設定	状態	
ファイヤウォール 機能	使用する 💌	設定	状態	
UPS	接続しない 💌	設定	状態	
NTP	使用しない	設定	状態	
Sambaサービス	Sambaサービス停止 💌	設定	状態	
外向けFTP	使用しない 💌	設定	状態	

3. [スタート]アイコンをクリックし、「終 了」をクリックする。



4. 「終了方法:」から「サーバシステムの電源 を切る」を選択し、[OK]をクリックす る。

サーバシステムの電源が切れます。



この後、UPSを取り外すときはSURFNAVIの電源コードをUPSのサービスコンセントから 抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。

管理コンピュータのセットアップ

SURFNAVIをネットワーク上のコンピュータから管理・監視するためのアプリケーションとして、 「ESMPRO/ServerManager」と「Management Workstation Application (MWA)」が用意されています。 これらのアプリケーションを管理コンピュータにインストールすることによりSURFNAVIの管理が容易に なるだけでなく、システム全体の信頼性を向上することができます。

ESMPRO/ServerManagerのインストールについては5章を参照してください。MWAのインストールについては4章、または保守・管理ツールCD-ROM内のオンラインドキュメントを参照してください。

再セットアップ

再セットアップとは、システムの破損などが原因でSURFNAVIを起動できなくなった場合などに、添付の「パックアップCD-ROM」を使ってハードディスクを出荷時の状態に戻してシステムを起動できるようにするものです。以下の手順で再セットアップをしてください。

保守用パーティションの作成

「保守用パーティション」とは、SURFNAVI特有の構成情報や専用のユーティリティを保存するために使用されるパーティションで、16MB程度の領域を内蔵ハードディスク上へ確保します(保守用パーティションは、1度作成されると以降は作成されません)。

SURFNAVIの信頼性を向上するためにも保守用パーティションを作成することをお勧めします。

保守用パーティションは、添付の「保守・管理ツールCD-ROM」を使って作成します。詳しく は第4章を参照してください。

保守用パーティションを作成するプロセスで保守用パーティションへ自動的にインストール されるユーティリティは、「システム診断ユーティリティ」と「オフライン保守ユーティリ ティ」です。

システムの再インストール

「バックアップCD-ROM用インストールディスク」を3.5インチフ ロッピーディスクドライブに、「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにそれぞれ挿入し、SURFNAVIを再起動させま す。

SURFNAVIは「バックアップCD-ROM用インストールディスク」 から設定情報を読み取り、自動的にインストールを実行しま す。



CD-ROMドライブ / 3.5インチフロッピーディスク

ドライブ

初期導入設定用ディスクの作成

前述の「初期導入設定用ディスクの作成」を参照してください。すでに初期導入設定用ディス クを作成している場合は、パスワード情報の設定のみ再度設定し直してください。ただし、 設定内容を変えたいときや、ネットワークへの接続形態を変更した場合(例えば、イントラ ネット用として使用していたSURFNAVIをインターネットモデル用に変えたときなど)は、 新たに初期導入用設定ディスクを作り直してください。

SURFNAVIのセットアップ

前述の「SURFNAVIのセットアップ手順」を参照してください。

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

「システムの再インストール」でESMPRO/ServerAgentは自動的にインストールされますが、固有の設定がされていません。5章の「ESMPRO/ServerAgent」を参照してセットアップしてください。

システム情報のバックアップ

システムの再セットアップが終了した後、添付の「保守・管理ツールCD-ROM」にあるオフラ イン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。 前述の「システム情報のバックアップ」、および第4章を参照してください。

~Memo~